

## 令和2年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

### 県問題解説(1-25問)

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	茨城をたべよう運動とは、2012年(平成24年)11月から始まり、今年で9年目を迎える県産農林水産物を食べて応援しようという地産地消運動です。シンボルマークのデザインは、本県在住のデザイナー藤代範雄(ふじしろ のりお)氏によるもので、毎年、県内全小学5年生を対象にこのデザインの入ったクリアファイルが配布されています。	1
2	八溝(やみぞ)山は太子町、福島県、栃木県と3県にまたがる標高1,022メートルの山です。筑波(つくば)山は877メートル、加波(かば)山は709メートル、高鈴(たかすず)山は623メートルです。茨城県という筑波山が有名ですが、茨城県内には筑波山よりも高い山が4つあります。(高笹(たかささ)山921メートル、栄蔵室(えいぞうむろ)882メートル、池ノ平(いけのひら)879メートル)	3
3	徳川慶喜(とくがわ よしのぶ)は、1837年水戸藩第9代藩主徳川斉昭(とくがわ なりあき)の7番目の男子として生まれました。弘道館で学んだ後、1847年に一橋家(ひとつばしけ)を継いで、1866年に第15代将軍になりました。翌年の1867年に大政を奉還した江戸幕府最後の将軍です。	3
4	つくば霞ヶ浦りんりんロードは、誰もが安全・快適にサイクリングを楽しむことができる日本一のサイクリング環境を目指し、整備が進められ、2019年(令和元年)11月7日にナショナルサイクルートの1つに指定されました。	4
5	茨城県は21年連続生産量日本一を誇るメロンの大産地です。イバラキングは茨城県で2003年(平成15年)に交配して得られたメロンのオリジナル品種です。2010年(平成22年)9月17日に品種登録を済ませました。上品な香りと甘さ、なめらかな口あたり、そしてきめ細かくジューシーな果肉が魅力です。	1
6	ココロちゃん(ココロちゃん)は2002年(平成14年)に、「人権教育や啓発活動の一翼を担う人々に親しまれる人権啓発キャラクター」として誕生しました。	2
7	大日本史(だいにほんし)は、水戸藩徳川家が編さんしたもので、水戸藩第2代藩主徳川光圀(とくがわ みつくに)が1657年に着手し、1906年(明治39年)に完成したものです。	3
8	本県のクリの生産量は年間3,090トン(令和元年)で、国内の生産量の20パーセントを占める全国一の産地です。そのうち、笠間市での生産は特にさかんで、2018年(平成30年)は全国1位の産出額となっています。リンゴは青森県、ブドウは山梨県、ナシは千葉県が全国一の産地です。	2
9	ひたちなか市は、日本の干しいもの生産量の7割を占めているといわれるほどの大産地です。干しいものは、「蒸す」→「剥く(むく)」→「切る」→「干す」という工程で作られ、かつお節と作り方が似ています。麦芽糖や食物繊維を多く含み、カリウムなどの栄養価も豊富です。	1
10	「西塩子(にししおご)の回り舞台」は、常陸大宮市西塩子地区に伝えられてきた、日本最古の組立式農村歌舞伎舞台です。これは、農村歌舞伎が盛んであった江戸時代後期から伝えられてきたもので、県の「有形民俗文化財」に指定されています。	1
11	水戸徳川家の菩提寺(ぼだいじ)である那珂市瓜連(うりづら)地区にある常福(じょうふく)寺は、徳川光圀(とくがわ みつくに)が寄贈し鎌倉時代最小となる仏像の可能性のある高さ約1.5センチメートルの阿弥陀三尊像(あみださんぞんぞう)が見つかったと発表しました。	2
12	茨城県は2019年(令和元年)の鶏卵の生産量が、234,209トンで日本一です。その中でも、小美玉市は1番の生産量を誇っています。	3
13	1971年(昭和46年)に涸沼などで発見されたことからヒヌマイトトンボという名前が付けられました。茨城町指定天然記念物であるヒヌマイトトンボは、河川改修などによって生息地が減少し、絶滅危惧種に指定されています。	3
14	大洗町では町営の「温泉スタンド」があり、40リットル10円で温泉を買うことができます。温泉の泉質は、ナトリウム-塩化物泉で、神経痛・筋肉痛・五十肩などに良く効く泉温15度の温泉です。残念ながら飲むことはできませんが、大洗を訪れた際には、ぜひご利用ください。	2
15	城里町にある清音(せいおん)寺を訪れた徳川光圀(とくがわ みつくに)が供された茶を称賛し、詩に詠んだ古内茶。このお茶は当時、清音寺の境内だけに栽培されており、その母木を光圀が初音(はつね)と名付け、その後古内地区一帯で広く栽培されるようになったといわれています。	4
16	東海村立白方(しらかた)小学校出身の吉村真晴(よしむら まはる)選手は、2016年(平成28年)のリオデジャネイロオリンピックにおいて男子団体の部で銀メダルを獲得しました。2019年(平成31年)4月の世界卓球選手権ハンガリー・ブダペスト大会において石川佳純(いしかわ かすみ)選手とのペアで出場した混合ダブルスの部では、銀メダルを獲得しました。	4
17	袋田の滝は、別名四度(よど)の滝と呼ばれています。滝川が4段に岩肌を落ちることから名付けられたという説と、昔、この地を訪れた西行が「この滝は四季に一度ずつ来て見なければ真の風趣が味わえない」とこの滝を絶賛したと伝えられていることから名付けられたという説があります。	2
18	国民宿舎「鶴の岬(うのみさき)」は、日立市十王町にある宿泊施設です。1989年(平成元年)以来、31年間連続日本一宿泊利用率の高い国民宿舎です。	1
19	常陸太田市にある竜神大吊橋は1994年(平成6年)に開通した日本最大級の歩行者専用吊橋です。ダム湖面からの高さは100メートルあり、スリル満点のバンジージャンプを楽しめます。また、橋の上からの眺めは絶景で四季おりおりのパノラマが広がっています。	2
20	1717年に長久保赤水(ながくぼ せきすい)が常陸国多賀郡赤浜村(ひたちのくにたがぐんあかはまむら)で誕生してから2017年(平成29年)はちょうど300年にあたりました。赤水は、1779年に日本で初めて経緯線を使った改正日本輿地露呈全図(かいせいにほんよちろていぜんず)を作りました。	2
21	十石堀(じゅうせきぼり)は、水不足解消と新田開発を目的として、今から350年ほど前に沼田主計(ぬまた かずえ)が工事の中心となり、大北川から水を引きました。十石堀は、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設として2019年(令和元年)9月4日に茨城県初の世界かんがい施設遺産に登録されました。	3
22	サッカーの元ブラジル代表選手のジーコは住友金属の蹴球(しゅうきゅう)団(サッカー部)に入団し、蹴球団がJリーグの鹿島アントラーズとなる過程で世界に通用するチームに育て上げました。いわば鹿島のサッカーの父として、名誉市民の称号が与えられました。	3
23	小堀 進(こぼりすすむ)は、1904年(明治37年)に行方(なめがた)郡大生原(おおうはら)村(現在の潮来市)で生まれました。郷里の霞ヶ浦・水郷をはじめとした国内外各地の風景を、鮮やかな色彩と単純化した大胆な構図でダイナミックに描き、水彩画界の発展に大きな影響を与えました。	4
24	神栖市波崎地区で生産されるピーマンは緑色が濃く、ツヤがあり、肉質はやわらかで、苦みの少ないことが特長です。5・6月が出荷の最盛期で、1年を通して出荷できます。県内生産量の約9割を神栖市をはじめとする鹿行地域が占めています。	4
25	芹澤 鴨(せりざわかも)は、幕末の水戸藩士で、新撰組の初代筆頭局長でした。芹澤 鴨の父は、常陸国行方郡玉造村芹澤(ひたちのくになめがたぐんたまつくりむらせりざわ)が郷土です。	1

## 令和2年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

### 県問題解説 (26-50問)

番号	解 説	答
26	銚田市は、全国でも有数の農業王国です。2018年(平成30年)に全国第1位の出荷額を誇っている農産物は、メロン、 <u>サツマイモ</u> です。	4
27	霞ヶ浦の風物詩である帆曳船(ほびきせん)は、風の力を利用して引網を引っ張り、漁を行う帆船です。1880年(明治13年)に、漁師の折本良平(おりもとりょうへい)により考案されたといわれています。帆曳船は、最初はシラウオの漁獲を目的に創始されたといわれ、1889年(明治22年)ごろに <u>ワカサギ</u> 用にも改良されました。	3
28	柿の献上は、生産者が1950年代半ばに宮内庁に柿を納めたのが始まりとされ、現在は石岡市の事業として毎年、 <u>富有(ふゆう)</u> 柿をお届けしています。	4
29	<u>野口啓代(のぐち あきよ)</u> は、龍ヶ崎市ふるさと大使や子育てたつこのアクションスペシャルサポーターも務める、龍ヶ崎市出身のプロフリークライミング選手です。2018年(平成30年)ボルダリング・ジャパンカップ優勝。2019年(令和元年)世界選手権コンバインド銀メダル。ワールドカップ通算21勝を誇り、東京オリンピックのスポーツクライミングで活躍が期待される選手です。	2
30	茨城県は平成30年度の <u>ビール</u> 製成品量が379,448キロリットルで製成品量全国第1位の県です。取手市と守谷市に大きなビール工場があります。	3
31	木村安兵衛(きむら やすべえ)は1817年に現在の牛久市で生まれました。その後、木村家(龍ヶ崎市)の養子に入り、東京新橋駅付近で木村屋の前身となる文英堂を開業しました。1874年(明治7年)に <u>あんパン</u> を開発し、販売すると反響を呼び、翌年に明治天皇が東京向島の旧水戸藩下屋敷で花見をする際には、茶菓子として献上しました。	1
32	筑波山は「西の富士、東の筑波」と並び称され、その優美な姿は古くから多くの人々に愛され、信仰されてきました。 <u>万葉集</u> には筑波山にまつわる和歌が25首あり、筑波山神社周辺をはじめ、筑波山エリアには全25首の筑波山万葉歌碑が建立されています。	1
33	1615年、徳川家康(とくがわ いえやす)が鷹狩りのため家来とともに守谷を訪れたといわれています。折悪しく、川が氾濫して渡船が困難になった際、家康が船頭に「 <u>がまん</u> (我慢)をして舟を渡してくれ」と懇願(こんがん)し、船頭が我慢をして舟を渡したので家康一行は無事、現在の千葉県側に渡ることができたといわれています。それ以来、この渡しを「がまん(我慢)の渡し」と呼ぶようになったと伝えられています。	2
34	稲敷市にある <u>妙岐ノ鼻(みょうぎのはな)</u> は、東京ドーム約10個分もの広大な湿原で、関東では最大級の面積といわれ、マコモ、ガマ、カモノハシなど湿性植物の群落もあり環境省の特定植物群落として指定されています。	3
35	レンコンは、漢字では蓮根と書きますが、ハスという植物の <u>地下茎(ちかけい)</u> です。地下の泥の中で成長するレンコンの、節のところから出るひげのようなものが根なのです。	4
36	<u>間宮林蔵(まみや りんぞう)</u> は1780年、常陸国筑波郡(現在のつくばみらい市)に生まれました。地理や算術の才能を見込まれ、後に幕府の役人になった林蔵は、伊能忠敬から測量の技術を教えられました。林蔵は、樺太(からふと)探査で間宮海峡を発見し、その後「蝦夷(えぞ)全図」(北海道地図)を完成させました。	1
37	美浦村で進めている <u>ノーテレビ・ノーゲーム運動</u> は、「テレビを見るな!」「ゲームをするな!」というわけではなく、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間をなるべく少なくしましょう、終わったらすぐに消しましょう、家で過ごす時間からテレビやゲームの時間を省きましょう、という呼びかけです。	1
38	日本海軍で最も使用された練習機で、正式名称は九三式中間練習機です。目立つようにオレンジ色に塗られたことから、別名 <u>あかとんぼ</u> と呼ばれていました。	2
39	旧金江津(かなえつ)中学校は、現在民間企業が <u>ドローン</u> の研究開発を行っており、毎年操縦技術などを競うドローンコンテストも開催されています。	2
40	利根町の来見(らいけん)寺に立ち寄った徳川家康(とくがわ いえやす)が庭にあった松の木をたいそう気に入ったので、日山和尚(にちざんおしょう)が江戸城に献上しました。後にその返礼として梅の木をくださり、松の木に替わって境内に植えたのでこの梅を「 <u>松替の梅</u> 」と名付けました。現在でも来見寺境内で見ることができます。	4
41	国内で唯一、国際公認規格の <u>卓球ボール</u> を製造する卓球用品の総合用具メーカー「日本卓球」。「ニツタク」の愛称で知られる同社の古河工場は月産100万個のボールをはじめ、ラバー、ラケットなどを製造しています。	2
42	1907年(明治40年)、結城市に県内で初めて <u>電話が開通</u> しました。	1
43	ベトナムには植物検疫上、 <u>ナシ</u> の輸出ができませんでしたが、2017年(平成29年)1月の解禁後、全国で初めて下妻市産ナシの冷蔵貯蔵した「 <u>豊水(ほうすい)</u> 」5キログラムがベトナムに試験輸出されました。その後は、本格的な輸出が行われています。	4
44	<u>長塚 節(ながつか たかし)</u> は1879年(明治12年)国生(こっしょう)村(現在の常総市)に生まれました。19歳の時、正岡子規(まさおか しき)の「歌よみに与ふる書」に共感し、「アララギ」の創刊に携わりました。当時の農村を写実的に描写した長編「土」は農民文学のさきがけとなる代表作となりました。	4
45	<u>板谷波山(いたや はざん)</u> は、下館(しもだて)市(現在の筑西市)に生まれ、陶芸家として初の文化勲章を受章しました。筑西市内にある「板谷波山記念館」や「しもだて美術館」には多くの作品と仕事道具が所蔵されており、2004年(平成16年)には波山の生涯を描いた「HAZAN」という映画が公開されました。	4
46	ミュージアムパーク茨城県自然博物館は、1994年(平成6年)に岩井市(現在の坂東市)大崎に設立されました。代表的な展示物であるマンモスの骨格は、1980年(昭和55年)に <u>中国</u> で発見されました。松花江(しょうかこう)マンモスと呼ばれる約3万4千年前のもので、マンモスの中でも世界最大級といわれています。	3
47	江戸時代末期久保田吉兵衛(くぼた きちべえ)を祖とする <u>真壁石燈籠(まかべいしとうろう)</u> は、厳しい弟子相伝(でしそうでん)により伝えられ、1995年(平成7年)に国の伝統工芸品に指定されました。切り出しから仕上げまで18の技法が用いられ、繊細優雅な彫刻に優れています。	1
48	八千代町は、全国一の <u>ハクサイ</u> の産地です。大正時代に栽培が試みられるようになり、昭和40年代に野菜指定産地となりました。	2
49	<u>ハクレン</u> は中国原産の淡水魚で、白波を立てて飛び跳ね、産卵期の豪快な集団大跳躍(ちょうやく)がよく知られています。	3
50	ニューヨークやサンフランシスコで販売されたさし茶は、当時のアメリカの新聞で「 <u>江戸ウーロン茶</u> 」として広告で紹介されました。	1